

2023年10月期（第42期）第3四半期 決算報告補足資料



株式会社システム デイ

代表取締役社長 藤田 雅己

2023年9月11日

■ 2023年10月期（42期）第3四半期 決算の概況

証券コード
3804



売上高・利益とも順調に計画を上回って推移しているが、利益率の比較的低い仕入販売の割合が多いこと、公会計Sの大幅減益、人件費増等のため、現時点で前年比では減益。仕掛っている大型案件の納品や来期システム稼働に向けたカスタマイズ納品等を予定しており、**通期見通しは計画通りで順調。**

売上高 3,315 百万円 ▶ 計画通り

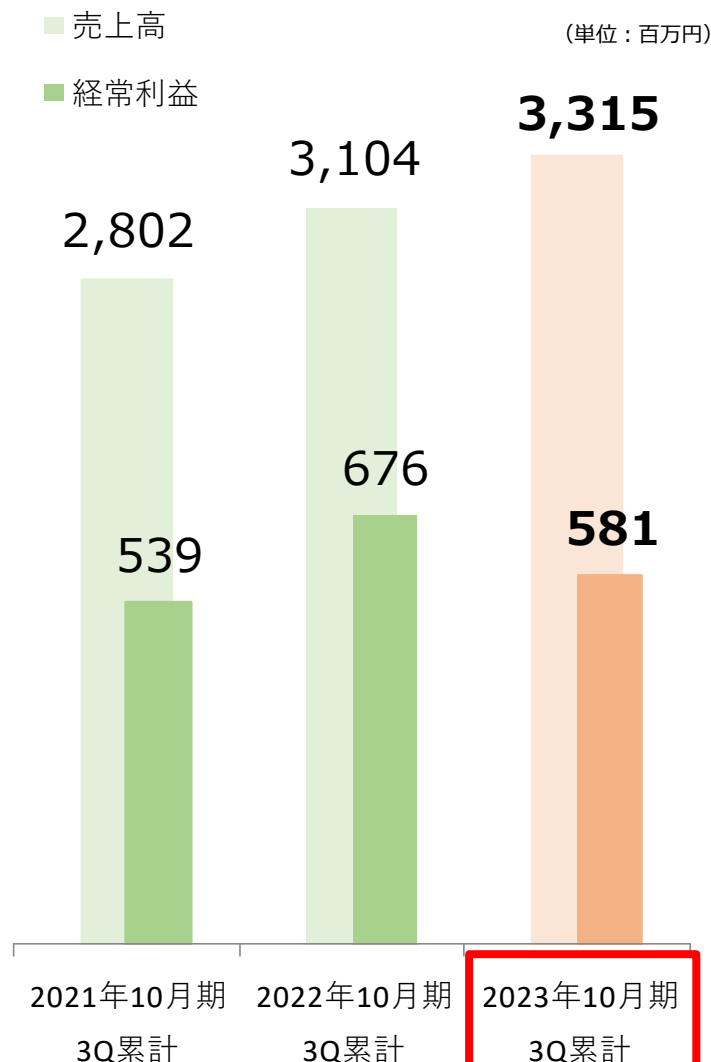
計画比： + 79 百万円 (102.4 %)

前年比： + 211 百万円 (106.8%)

経常利益 581 百万円 ▶ 計画過達

計画比： + 71 百万円 (114.0%)

前年比： △ 95 百万円 (85.9%)



■ 売上高・経常利益の推移

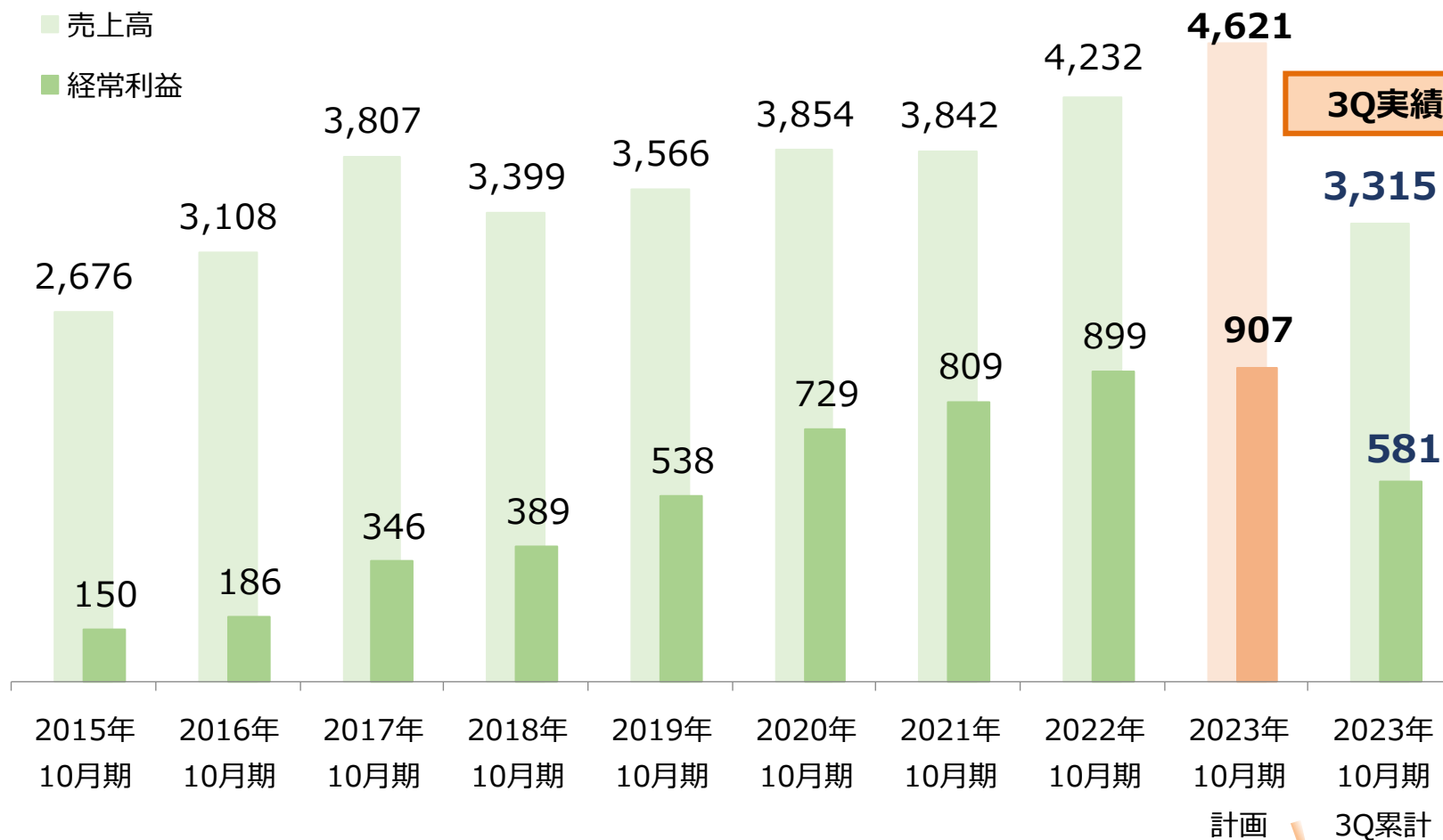
証券コード
3804



前期まではコロナ禍においても順調に業績を伸ばしており、特に前期上半期は稀にみる好業績であったが、3Qでは経常利益こそ前年同時期をやや下回ったものの**計画比では上回って推移し**、売上高についても**計画以上に堅実に成長**。

通期計画

(単位：百万円)



■ 2023年10月期第3四半期までのトピック

証券コード
3804



- 2023年10月期は、**学園Sに復調の兆し**が見られ、計画を上回る業績を残している。**慶應義塾様をはじめとする大型案件の獲得**が事業の底上げとなり、今期中に売上計上予定で仕掛っている大型案件も順調。
- 公教育S**は大型案件の新規稼働こそなかったものの、**着実にストック売上を積み上げ**、安定した業績を上げている。山口県、岩手県を落札し、来期稼働に向けて着々と準備を進めている。
- ウェルネスS**の顧客、**カーブス様**に関する売上が2023年10月期において**大幅に回復し**、当事業部の売上を牽引。ただし、当案件は**仕入販売がその大半**を占めているため、売上高の貢献度合ほど利益面では伸びが目立たない。
- 公会計S**は、PPPが多くの自治体様に行き渡り、現在**過半数を超える自治体様**にご利用いただいている。新サービスは販促強化中で、予算取り、執行までを考えると**今期、来期は「端境期」**となる。今期は計画以上の業績を残してはいるが、**想定通りの大幅減益**。
- 4月には**賃金アップに挑戦**した。人材確保が今まで以上に困難となる中、5年後、10年後のための人材確保のため、福利厚生強化と合わせて賃金アップを強気に行った。また、ユーザー数の一層増えつつある公教育Sのリソース確保のため、引き続き**キャリア採用にも注力**している。
- 中村牧場株式会社は、会計上7月末をみなし取得日としており、株式取得にかかるコストは第3四半期において連結決算にて計上。（約27百万円）

パッケージシステム & ビッグデータ × AIソリューション

○この度、AIを活用したソフトウェアの受託開発、コンサルティングを専門に行っている「中村牧場株式会社」（設立2018年5月、資本金500万円）の全株式を取得して子会社化しました。（2023年6月12日株式譲渡契約締結）

○「中村牧場株式会社」は、数多くのAIを活用したソリューションを提案し、また開発受託し、自ら開発、導入、稼働まで支援してきました。

○また、大企業のAI人材育成プロジェクトも複数手掛けており、他にも自治体やコンサルファーム向けの研修講師を行っています。（ダイキン、JAXA、NTT東 等）

○当面は、従来のソリューションを展開・拡張しつつ、システムディの今後の新しい事業・サービスの展開や既存ソリューションの新たな方向性を創造する原動力の一つとして、新規機能・新規パッケージシステムの研究開発、AI人材育成、新規ソリューション創造に注力してもらいます。

○AIを活用して「真に付加価値の高い情報とそのソリューション」を提供してまいります。